

国際連合の誕生



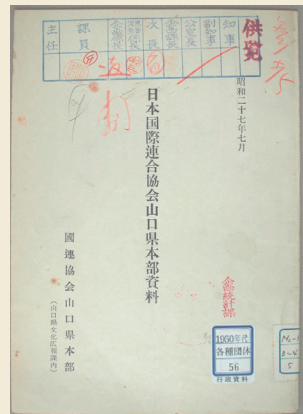
* ポスター昭和27-20「国連週間 この人たちは何を見守っているのでしょうか」

解説

1945（昭和20）年10月、連合国は、二度の世界大戦への反省から、国際連合（国連）を作りました。

日本でも、1947（昭和22）年に日本国際連合協会が作られ、国連加盟へ向けての草の根運動が開始されました。サンフランシスコ平和条約の前文には、日本が加盟を希望し、国連憲章を守り、かつ世界人権宣言の目的を実現する旨が盛り込まれましたが、ソ連との間に条約調印がなされなかったため、加盟は実現しませんでした。その後、1956（昭和31）年の日ソ共同宣言によりソ連との国交が回復したことを受けて、加盟が実現し国際社会に復帰しました。

左の写真は、1951（昭和26）年10月18日～24日の国連週間に合わせて山口県文化広報課が作成したポスターで、山口県にも日本国連協会の支部を作ろうと呼びかけています。翌年7月、日本国際連合協会山口県本部が設立され、事務局は県庁広報課内（現、国際課内）に置かれ、会長には田中龍夫知事が就任しました。



* 上の写真は1952（昭和27）年7月発行の「日本国際連合協会山口県本部資料」（行政資料 50各団56）です。規約案や事業計画案などが掲載されています。